

令和5年度独歩記念事業  
柳井市短詩型文学祭優秀作品集



令和5年6月23日  
柳井市中央公民館

# 令和5年度独歩記念事業柳井市短詩型文学祭結果発表資料

令和5年6月23日

柳井市中央公民館

明治の文豪・国木田独歩（1871～1908）は、37年の短い生涯の半分を山口、岩国、柳井、田布施で過ごしました。特に多感な青春時代を柳井地方で過ごした独歩は、この地方を舞台にした『置土産』『酒中日記』『富岡先生』『少年の悲哀』など柳井地方の美しい自然と人情を背景にした作品を残し、自然描写に新境地を開いた名作『武蔵野』に見られる落葉樹などへの美的視点は、県内の山々の散策で培われたものです。

独歩は明治41年6月23日神奈川県で37歳の若さで没し、柳井市ではその功績を称えるため昭和26年6月から「独歩忌」として俳句・短歌・詩の作品を募集してきましたが、平成15年度からは、これを『独歩記念事業 柳井市短詩型文学祭』として新たに取り組み、独歩に関する作品のみならず、幅広く文学的な作品を募集し、その優秀作品を称えとともに、柳井市の短詩型文学の発展を目指しており、今回で通算71回目を迎えました。

募集については、平成28年度から独歩記念事業の基本に立ち戻り、地元の関心をより高めることを目的として、18歳以上（高校生不可）で山口県在住の方の応募といたしました。

優秀作品は下記選者の方々により別紙のとおり選考され、本日発表とともに、入賞者の方々に通知いたします。

## 【作品投稿状況】 令和5年度 102作品（51人）

※18歳以上（高校生不可）で山口県在住の方のみの募集

※令和3年度は228作品（116人）、令和4年度は119作品（60人）。（作品数・人数ともに詩部門を除いた数。）

### 【短歌部門】

選者	吉崎郁子・森重笑子・村上悦子		
投稿数	50首	投稿者数	25人
投稿者	柳井市内 15人（60%）	県内（柳井市除く）	10人（40%）

### 【俳句部門】

選者	国重勝之・浅海紀代子・河村正子		
投稿数	52句	投稿者数	26人
投稿者	柳井市内 14人（54%）	県内（柳井市除く）	12人（46%）

☆令和4年度投稿数 119作品（60人） 【うち柳井市内：44作品（22人）】

【短歌部門】 44首 投稿者数 22人

【俳句部門】 75句 投稿者数 38人

問い合わせ先：柳井市教育委員会 生涯学習・スポーツ推進課

〒742-8714 山口県柳井市南町1-10-2 TEL 0820-22-2111 内線 332

FAX 0820-23-7371

# 令和五年度独歩記念事業柳井市短詩型文学祭優秀作品

令和五年六月二十三日  
柳井市中央公民館

## ◎短歌部門（投稿数 五十首 投稿者数 二十五名）

- 一位 来る春に四肢麻痺の俺も飛ぶ蝶に負けないようにリハビリをする 中原 伸二（光市）
- 二位 ごろ寝するわれの足裏くすぐりて暖春の風通り過ぎゆく 河本 信雄（柳井市）
- 三位 久々の庭駆け回りコロナ禍の曾孫の笑顔に漸く会えり 井上 田鶴子（柳井市）

【選者】吉崎郁子・森重笑子・村上悦子

## ◎俳句部門（投稿数 五十二句 投稿者数 二十六名）

- 一位 地雷踏むこと無き国や露の臺 土井 良治（田布施町）
- 二位 校名の変はりし母校花みかん 梅田 揚子（下松市）
- 三位 春耕の土の匂ひに疲れけり 曾我 欣行（田布施町）

【選者】国重勝之・浅海紀代子・河村正子